

第 42 回ガンカモ類の生息調査報告書(平成 22 年度) 正誤表

平成23年(2011年)10月に発行しました「第42回ガンカモ類の生息調査報告書(平成22年度)」に下記の誤りがありましたので訂正いたします。

1. 調査結果の修正内容

宮崎県の下富田地点の以下のカモの羽数について、宮崎県から環境省への修正連絡手違いにより反映されていなかったため。

	誤	正	差
マガモ	3,875	2,237	1,638
カルガモ	1,264	225	1,039
コガモ		14	-14
ヒドリガモ	721	258	463
オナガガモ		25	-25
ハシビロガモ		56	-56
ホシハジロ		73	-73
キンクロハジロ		46	-46
ツクシガモ		66	-66
小計	5,860	3,000	2,860

表2-4-5については上記修正に加え、狩猟対象外種の「その他」にツクシガモの観察地点数及び羽数が含まれていなかったため、当該観察地点数及び羽数を追加する修正を行ったことにより、値の修正が発生した。

2. 報告書修正への影響範囲

- ①ガン、カモ、ハクチョウ類の総数等に関する記述、図表
- ②宮崎県及び日本全国のカモ類全体の羽数に関する記述、図表
- ③宮崎県及び日本全国のマガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ツクシガモの羽数等に関する記述、図表
- ④下富田地点の修正
- ⑤ツクシガモの観察地点数等に関する表2-4-5

3. 正誤表(本編)

ページ	行または 図表番号	誤	正
調査の概要	L8～L12	カモ類は全都道府県の6,093地点において <u>1,672,958羽</u> が観察された。観察総数は <u>1,909,226羽</u> であり、昨年度の1,958,544羽と比べ <u>49,318羽</u> 減少した。 分類群別に最も観察個体数の多かった種は、ハクチョウ類はコハクチョウ(36,827羽)、ガン類はマガン(156,224羽)、カモ類はマガモ(359,933羽)であった。	カモ類は全都道府県の6,093地点において <u>1,670,098羽</u> が観察された。観察総数は <u>1,906,366羽</u> であり、昨年度の1,958,544羽と比べ <u>52,178羽</u> 減少した。 分類群別に最も観察個体数の多かった種は、ハクチョウ類はコハクチョウ(36,827羽)、ガン類はマガン(156,224羽)、カモ類はマガモ(358,295羽)であった。
Abstract	L9～L13	<u>1,672,958</u> ducks at 6,093 sites in all prefectures. The total number of waterfowl counted this year has decreased by <u>49,318</u> to <u>1,909,226</u> compared with the number last year 1,958,544. The most abundant waterfowl was Tundra Swan (36,827) in swans, Greater White-fronted Goose (156,224) in geese, and Mallard (359,933) in ducks.	<u>1,670,098</u> ducks at 6,093 sites in all prefectures. The total number of waterfowl counted this year has decreased by <u>52,178</u> to <u>1,906,366</u> compared with the number last year 1,958,544. The most abundant waterfowl was Tundra Swan (36,827) in swans, Greater White-fronted Goose (156,224) in geese, and Mallard (358,295) in ducks.
P. 9	L2～L4	総計 <u>1,909,226羽</u> のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類67,394羽、ガン類168,874羽、カモ類 <u>1,672,958羽</u> であった	総計 <u>1,906,366羽</u> のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類67,394羽、ガン類168,874羽、カモ類 <u>1,670,098羽</u> であった
P. 9	L12	102,882羽 (<u>6.1%</u>) が観察された(表2-1-1)。	102,882羽 (<u>6.2%</u>) が観察された(表2-1-1)。
P. 9	図2-1-1	別紙 図2-1-1(誤)	別紙 図2-1-1(正)
P. 10	表2-1-1	別紙 表2-1-1(誤)	別紙 表2-1-1(正)
P. 11	L1～L4	ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は昨年度と比べて <u>3.0%</u> 減少した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では1.1%減少、ガン類では2.6%減少、カモ類では <u>3.2%</u> の減少であった。	ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は昨年度と比べて <u>3.2%</u> 減少した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では1.1%減少、ガン類では2.6%減少、カモ類では <u>3.3%</u> の減少であった。
P. 11	表2-1-2	別紙 表2-1-2(誤)	別紙 表2-1-2(正)
P. 11	図2-1-2	別紙 図2-1-2(誤)	別紙 図2-1-2(正)
P. 12	表2-1-3	別紙 表2-1-3(誤)	別紙 表2-1-3(正)
P. 55	L4	<u>1,672,958羽</u> のカモ類が観察された。	<u>1,670,098羽</u> のカモ類が観察された。

ページ	行または 図表番号	誤	正
P. 55	図2-4-1	別紙 図2-4-1(誤)	別紙 図2-4-1(正)
P. 56	図2-4-2	別紙 図2-4-2(誤)	別紙 図2-4-2(正)
P. 57	表2-4-1(1)	別紙 表2-4-1(1)(誤)	別紙 表2-4-1(1)(正)
P. 58	表2-4-1(2)	別紙 表2-4-1(2)(誤)	別紙 表2-4-1(2)(正)
P. 59	表2-4-1(3)	別紙 表2-4-1(3)(誤)	別紙 表2-4-1(3)(正)
P. 59	表2-4-1(4)	別紙 表2-4-1(4)(誤)	別紙 表2-4-1(4)(正)
P. 61	図2-4-3(2)	別紙 図2-4-3(2)(誤)	別紙 図2-4-3(2)(正)
P. 62	図2-4-3(3)	別紙 図2-4-3(3)(誤)	別紙 図2-4-3(3)(正)
P. 63	図2-4-3(4)	別紙 図2-4-3(4)(誤)	別紙 図2-4-3(4)(正)
P. 67	図2-4-3(8)	別紙 図2-4-3(8)(誤)	別紙 図2-4-3(8)(正)
P. 68	図2-4-3(9)	別紙 図2-4-3(9)(誤)	別紙 図2-4-3(9)(正)
P. 69	図2-4-3(10)	別紙 図2-4-3(10)(誤)	別紙 図2-4-3(10)(正)
P. 70	図2-4-3(11)	別紙 図2-4-3(11)(誤)	別紙 図2-4-3(11)(正)
P. 71	図2-4-3(12)	別紙 図2-4-3(12)(誤)	別紙 図2-4-3(12)(正)
P. 81	表2-4-2(1)	別紙 表2-4-2(1)(誤)	別紙 表2-4-2(1)(正)
P. 82	表2-4-2(2)	別紙 表2-4-2(2)(誤)	別紙 表2-4-2(2)(正)
P. 83	表2-4-2(3)	別紙 表2-4-2(3)(誤)	別紙 表2-4-2(3)(正)
P. 84	図2-4-4	別紙 図2-4-4(誤)	別紙 図2-4-4(正)
P. 87	表2-4-3(2)	別紙 表2-4-3(2)(誤)	別紙 表2-4-3(2)(正)
P. 87	表2-4-4(2)	別紙 表2-4-4(2)(誤)	別紙 表2-4-4(2)(正)
P. 88	図2-4-5(2) ※上図	別紙 図2-4-5(2)(誤)	別紙 図2-4-5(2)(正)
P. 89	表2-4-3(3)	別紙 表2-4-3(3)(誤)	別紙 表2-4-3(3)(正)
P. 89	表2-4-4(3)	別紙 表2-4-4(3)(誤)	別紙 表2-4-4(3)(正)
P. 90	図2-4-5(3) ※下図	別紙 図2-4-5(3)(誤)	別紙 図2-4-5(3)(正)
P. 91	表2-4-3(4)	別紙 表2-4-3(4)(誤)	別紙 表2-4-3(4)(正)
P. 91	表2-4-4(4)	別紙 表2-4-4(4)(誤)	別紙 表2-4-4(4)(正)
P. 92	図2-4-5(4) ※下図	別紙 図2-4-5(4)(誤)	別紙 図2-4-5(4)(正)
P. 99	表2-4-3(8)	別紙 表2-4-3(8)(誤)	別紙 表2-4-3(8)(正)
P. 99	表2-4-4(8)	別紙 表2-4-4(8)(誤)	別紙 表2-4-4(8)(正)
P. 100	図2-4-5(8) ※下図	別紙 図2-4-5(8)(誤)	別紙 図2-4-5(8)(正)
P. 101	表2-4-3(9)	別紙 表2-4-3(9)(誤)	別紙 表2-4-3(9)(正)
P. 101	表2-4-4(9)	別紙 表2-4-4(9)(誤)	別紙 表2-4-4(9)(正)
P. 102	図2-4-5(9) ※下図	別紙 図2-4-5(9)(誤)	別紙 図2-4-5(9)(正)
P. 103	表2-4-3(10)	別紙 表2-4-3(10)(誤)	別紙 表2-4-3(10)(正)
P. 103	表2-4-4(10)	別紙 表2-4-4(10)(誤)	別紙 表2-4-4(10)(正)
P. 105	表2-4-3(11)	別紙 表2-4-3(11)(誤)	別紙 表2-4-3(11)(正)

ページ	行または 図表番号	誤	正
P. 105	表2-4-4(11)	別紙 表2-4-4(11)(誤)	別紙 表2-4-4(11)(正)
P. 107	表2-4-3(12)	別紙 表2-4-3(12)(誤)	別紙 表2-4-3(12)(正)
P. 107	表2-4-4(12)	別紙 表2-4-4(12)(誤)	別紙 表2-4-4(12)(正)
P. 127	L1～L2	主に関西以西で観察され、福岡県、佐賀県、大分県など九州 <u>北部</u> での観察が特に多い。	主に関西以西で観察され、福岡県、佐賀県、 <u>宮崎県</u> 、大分県など九州 <u>地区</u> での観察が特に多い。
P. 127	表2-4-3(22)	別紙 表2-4-3(22)(誤)	別紙 表2-4-3(22)(正)
P. 127	表2-4-4(22)	別紙 表2-4-4(22)(誤)	別紙 表2-4-4(22)(正)
P. 129	L4～L5	これらの地点ではカモ類の全観察個体数の <u>46.4%</u> にあたる <u>775,555羽</u> が観察された。	これらの地点ではカモ類の全観察個体数の <u>46.3%</u> にあたる <u>772,695羽</u> が観察された。
P. 129	L8～L11	カモ類の全観察個体数の <u>86.3%</u> にあたる <u>1,443,178羽</u> が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点の合計は2,212地点で、全体の36.3%にあたり、カモ類の全観察個体数の <u>13.7%</u> にあたる229,780羽が観察された。	カモ類の全観察個体数の <u>86.2%</u> にあたる <u>1,440,318羽</u> が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点の合計は2,212地点で、全体の36.3%にあたり、カモ類の全観察個体数の <u>13.8%</u> にあたる229,780羽が観察された。
P. 130	表2-4-5	別紙 表2-4-5(誤)	別紙 表2-4-5(正)
P. 131	図2-4-6	別紙 図2-4-6(誤)	別紙 図2-4-6(正)
P. 133	表2-4-7	別紙 表2-4-7(誤)	別紙 表2-4-7(正)
P. 135	表2-4-8	別紙 表2-4-8(誤)	別紙 表2-4-8(正)
P. 136	図2-4-7(1)	別紙 図2-4-7(1)(誤)	別紙 図2-4-7(1)(正)
P. 137	図2-4-7(2)	別紙 図2-4-7(2)(誤)	別紙 図2-4-7(2)(正)
P. 139	図2-4-7(4)	別紙 図2-4-7(4)(誤)	別紙 図2-4-7(4)(正)
P. 141	表2-4-10	別紙 表2-4-10(誤)	別紙 表2-4-10(正)
P. 144	表2-5-3	別紙 表2-5-3(誤)	別紙 表2-5-3(正)
P. 145	表2-5-4	別紙 表2-5-4(誤)	別紙 表2-5-4(正)
P. 159	図2-5-13	別紙 図2-5-13(誤)	別紙 図2-5-13(正)
P. 159	L6	(追加)	なお、宮崎県は例年観察個体数が少なかったが、今年度調査では87羽が観察された。
P. 160	表2-5-13	別紙 表2-5-13(誤)	別紙 表2-5-13(正)
P. 179	L8～L10	またツクシガモは、1地点を除き給餌のない地点で観察されている。なお <u>同地点</u> では観察個体数の <u>12.5%</u> が観察されている。	またツクシガモは、1地点を除き給餌のない地点で観察されている。なお <u>給餌有り</u> の地点では観察個体数の <u>11.5%</u> が観察されている。
P. 179	表2-7-7	別紙 表2-7-7(誤)	別紙 表2-7-7(正)
P. 181	表2-7-9	別紙 表2-7-9(誤)	別紙 表2-7-9(正)

ページ	行または 図表番号	誤	正
P. 182	図2-7-7(1)	別紙 図2-7-7(1)(誤)	別紙 図2-7-7(1)(正)
P. 183	図2-7-7(2)	別紙 図2-7-7(2)(誤)	別紙 図2-7-7(2)(正)
P. 184	表2-7-10	別紙 表2-7-10(誤)	別紙 表2-7-10(正)
P. 186	表2-7-12	別紙 表2-7-12(誤)	別紙 表2-7-12(正)
P. 187	図2-7-8(1)	別紙 図2-7-8(1)(誤)	別紙 図2-7-8(1)(正)
P. 188	図2-7-8(2)	別紙 図2-7-8(2)(誤)	別紙 図2-7-8(2)(正)
P. 189	図2-7-8(3)	別紙 図2-7-8(3)(誤)	別紙 図2-7-8(3)(正)
P. 190	図2-7-8(4)	別紙 図2-7-8(4)(誤)	別紙 図2-7-8(4)(正)
P. 191	表2-7-13	別紙 表2-7-13(誤)	別紙 表2-7-13(正)
P. 192	図2-7-9(1)	別紙 図2-7-9(1)(誤)	別紙 図2-7-9(1)(正)
P. 193	図2-7-9(2)	別紙 図2-7-9(2)(誤)	別紙 図2-7-9(2)(正)
P. 194	図2-7-9(3)	別紙 図2-7-9(3)(誤)	別紙 図2-7-9(3)(正)
P. 195	図2-7-9(4)	別紙 図2-7-9(4)(誤)	別紙 図2-7-9(4)(正)

4. 正誤表(資料編)

ページ	行または 図表番号	誤	正
資-11	表2-1(1)	別紙 資料2-1(1)(誤)	別紙 資料2-1(1)(正)
資-15	表2-1(5)	別紙 資料2-1(5)(誤)	別紙 資料2-1(5)(正)
資-23	表2-4(1)	別紙 資料2-4(1)(誤)	別紙 資料2-4(1)(正)
資-25	表2-4(3)	別紙 資料2-4(3)(誤)	別紙 資料2-4(3)(正)
資-26	表2-4(4)	別紙 資料2-4(4)(誤)	別紙 資料2-4(4)(正)
資-27	表2-4(5)	別紙 資料2-4(5)(誤)	別紙 資料2-4(5)(正)
資-31	表2-4(9)	別紙 資料2-4(9)(誤)	別紙 資料2-4(9)(正)
資-32	表2-4(10)	別紙 資料2-4(10)(誤)	別紙 資料2-4(10)(正)
資-33	表2-4(11)	別紙 資料2-4(11)(誤)	別紙 資料2-4(11)(正)
資-34	表2-4(12)	別紙 資料2-4(12)(誤)	別紙 資料2-4(12)(正)
資-35	表2-4(13)	別紙 資料2-4(13)(誤)	別紙 資料2-4(13)(正)
資-45	表2-4(23)	別紙 資料2-4(23)(誤)	別紙 資料2-4(23)(正)
資-63	表2-9(4)	別紙 資料2-9(4)(誤)	別紙 資料2-9(4)(正)

－ 以上 －